

ICTを用いた 地域活性化プロジェクト ～深大寺編～

電気通信大学 エンジニアリングデザイン2

地域ICTチーム

1110021 大隅 匡

指導教官: 峯水 延浩

TA: 山幡 琢也

取り組みの要旨

- 地域、観光の活性化（前期、後期共通）

近年、一部の自治体において、地域活性化や高齢化社会に対応するべく、ICT(Information and Communication Technology)技術が導入されており、これらは「地域ICT」と呼ばれている。

電気通信大学の地元・調布市には、深大寺や神代植物公園など魅力ある観光地が多数ある。ここ最近、観光客が増加している。観光地、そしてその地域をより深く知ることが、魅力を増やすことにつながると考えた。そこで、ICTを導入した地域活性化を検討した。

実施内容の要旨

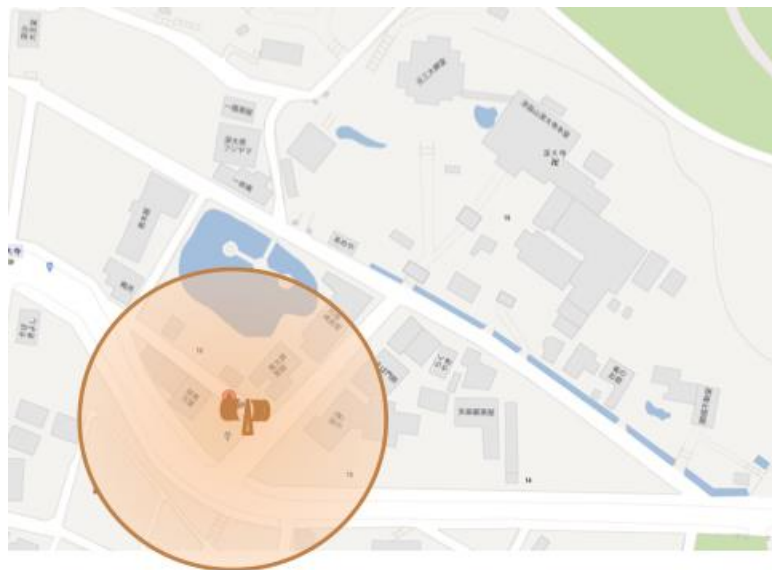
- 観光地における情報発信、伝達方法の実験、調査（前期、後期共通）
- ワンセグでの情報発信・伝達方法の実験（前期分）
上記における情報発信・伝達方法の一つとしてワンセグを考えた。このツールを如何に良く活用するかの実証実験を、実施。
- ワンセグ以外での情報発信・伝達方法の調査（後期分）

背景

- 観光地にICT技術を導入できるかどうかの検討（後期分）
分かりやすい案内、観光地としての知名度向上にICT技術を活用することで、観光客増加につながるかどうかの検討を実施。
実施場所について、以下の基準で選択した。
 - ・立地上、実施しやすい場所であるかどうか
 - ・年間を通して、実施しやすいかどうか
 - ・観光客が多く、年齢層も幅広いかどうかその中で、今回は本学の地元の観光地である深大寺を選択した。

前期のワンセグ実験について

- 日付: 2013年8月10日(土)～11日(日)
- 時間: 午前11時～午後4時
- 実施場所: 深大寺(東京都調布市)
- 目的: 調布市内で有数の観光地であり、多くの人々が訪れてデータを多く収集できると判断したため。



当日の実験の様子



当日のブースの様子



ワンセグ送信機

ワンセグ放送実験中！



電気通信大学の授業「エンジニアリングデザイン」の一環で、地域活性化を目的としたワンセグ放送を行っています。

<視聴方法>

1. アンテナを伸ばしてワンセグを起動する
2. [] ボタンを押して「NHK総合」を表示
3. 右ボタンを長押ししてチャンネルをスキャンする
4. 30chで「調布ワンセグ」を受信

今回のワンセグ放送実験では、深大寺をより深く知ってもらい、これをきっかけとして周辺への興味を促すことを目的として、「深大寺の見どころや解説」について放送しています。ワンセグ対応機器をお持ちの方は、ぜひご視聴ください。

UEC 国立大学法人
電気通信大学

調布ワンセグ

チラシ

電波測定結果

- おおよその視聴可能範囲は、右図の青色の円の内側であることが判明した。



当初予想



測定結果

電波測定結果

- また、深大寺境内の山門近くにアンテナを設置した場合のおおよその視聴可能範囲は、オレンジ枠内であることが判明した。

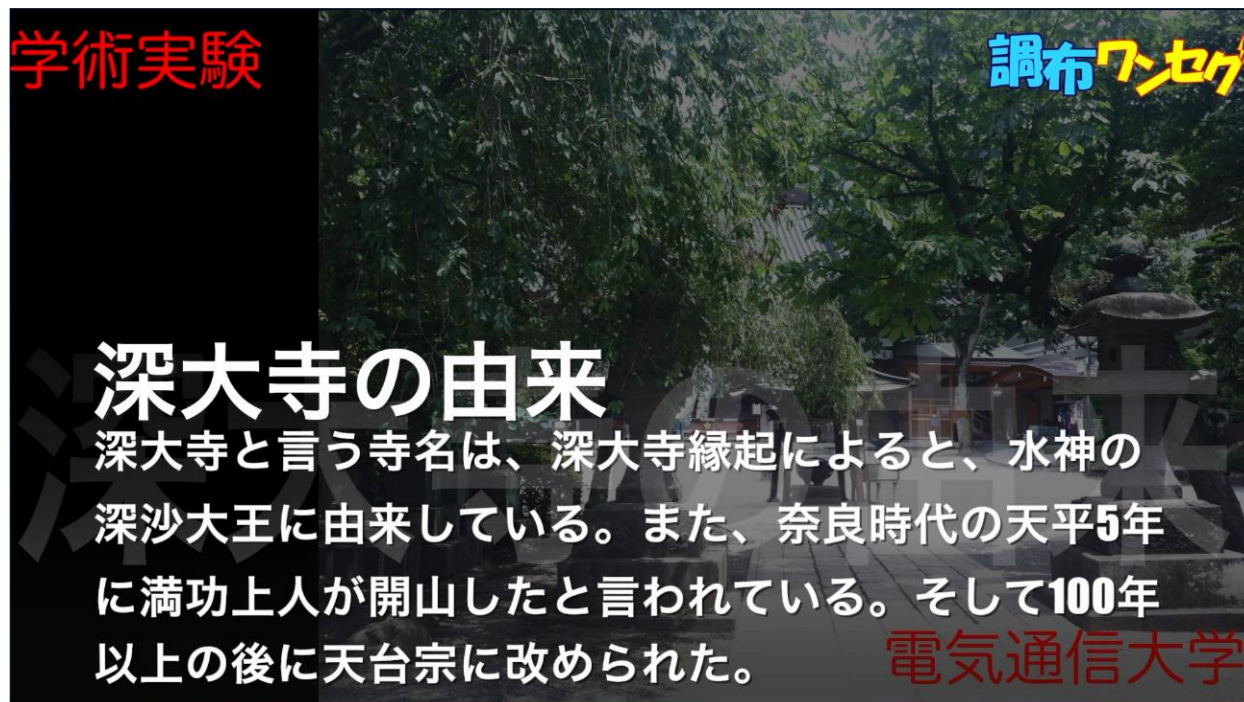


その他実験結果

- 対応端末を所持していない方が意外にも多く、ワンセグの普及度が低いという結果を得た。
- 原因
 - ・現地の人通りが少なかった。
 - ・宣伝・広報を行っていなかった。

放送内容

- 深大寺のメインスポット14か所の解説を、写真と共にテキストによる字幕スーパーと説明を朗読した音声で行った。



調布市観光協会への報告

- 前期の主な実験内容及び結果を、昨年11月下旬に報告した。
 - ワンセグ普及率が意外にも低いこと
 - 電波測定結果
 - 本実験を踏まえての改善策
- その際、深大寺の現状について以下の内容が出た。
 - 海外からの観光客の増加。
 - 外国語対応の案内が少ないという問題。
- 上記より、地域ICTチームとして協力できるかどうかの検討を実施。

外国語対応に関する調査

- 日時: 2014年1月16日(木) 午後1時半～午後2時
- 実施場所: 深大寺(東京都調布市)
- 調査内容
 - どれぐらいの外国人観光客がいるのか。
 - 案内板などにおいて、外国語向けの案内があるかどうか。



調査結果

- 外国語併記の案内板は、以下のオレンジ色内の範囲の内、○のついている2か所のみ設置しており、数が少ないと判断。



看板(1つ目)

- ・ 調布市教育委員会が設置した深大寺の案内板。
- ・ 英語と日本語が併記。



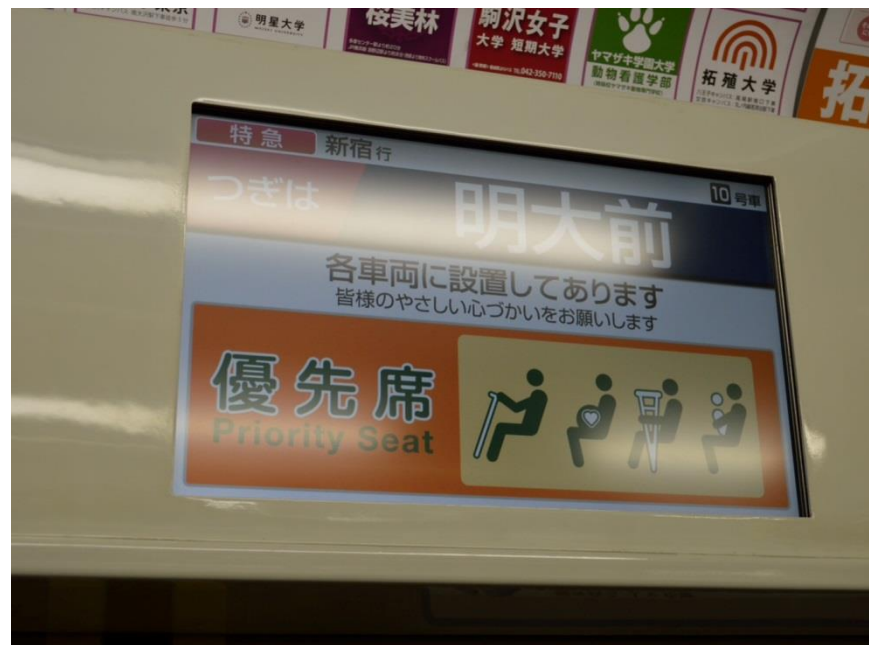
看板(2つ目)

- 京王バスが設置したバス停案内板。
- 日本語、英語、中国語、韓国語の4か国語を併記。



調査結果

- 私が調査時間30分の中で深大寺を歩いたところ、日本語以外の言語を母国語とする人を、50人中10人ほど見かけた。特に母国語について、中国語と思われる言語が多かった。
- ところで、京王線の駅や車内ディスプレイでは、英語だけではなく、中国語、韓国語対応の案内も行われている。



調査結果

- これは、海外からの乗客が快適に京王線を利用できるように案内を行っているのが理由と思われる。
- 以上の調査結果から、快適に観光できるためには、外国語併記の案内設備が必要と判断した。



改善策の提案

- 「調布市基本計画」によると、深大寺における観光整備を今後推進するとの記載有。
- 設備についてはデジタルに限らず、全ての人々に見やすく、分かりやすい案内板の設置も検討の一つ。
- 電気通信大学では、情報分野において最先端の研究を行っていることから、その技術を十分に活用できる可能性有。
- 以上のことを踏まえて、次ページに改善策の内容を複数提案し、それぞれの利点、欠点を一覧にした表を作成した。（但し、コスト面については、変動する可能性があることから、考慮していない。）

改善策の提案

内容	利点	欠点
外国語併記の案内板を設置する。	案内板を綺麗に維持する限り、長期的に提供可能。	表記する言語を多くするほど、場所を多く取る。
オンラインコンテンツを提供する。	コンテンツ次第では、スマートフォンで使用可能。	海外の携帯電話は、日本で通信できない可能性有。
外国語対応のガイドを増員する。	観光客は、分からないことを直接質問出来る。 ガイドと親しくなることができる。	専門用語をガイドの言葉で直接話せるかどうかの不安がある。

今後について

- 調布市が深大寺における観光整備を推進していく際、地域ICTを導入する事例や、観光整備を推進する事例を参考に、本チームが前頁の内容を始めとした何か案を提案してみると良いのではないかと、考えた。
- 人数の確保も課題である。本チームのメンバー募集にも力を入れて行けたら良いのでは、と考えている。
- 但し、チームが再編する可能性も考えられるので、柔軟に対応していきたいと考えている。

感想

- 私は本授業を1年間受講して、「現場で実験を行うことの重要性」、「周りを上手く巻き込んで新企画を立案する力」、「既存のものをより良くするために改善する力」を習得できたと考えています。
- 今後の卒業研究や就職において、これらを活かしていきたいと考えています。

謝辞

- この実験・プロジェクトでは、下記の皆様のご協力のもとで実施しました。
- 調布市産業振興課 様
- 調布市観光協会 様
- 深大寺 様
- 日本無線株式会社 様